

フェデラルウェイ市（アメリカ合衆国、ワシントン州）
Federal Way, Washington, U.S.A.

1 提携年月日 平成5年8月1日（姉妹都市提携盟約書調印の日）

2 姉妹都市の概況

フェデラルウェイ市は、カナダ国境に接する米国西海岸のワシントン州に位置する。緯度は、北緯47度20分と北海道より北にあたるが、太平洋を北上する暖流の影響で、冬の気候は、多少の降雨があるものの比較的温暖である。また、夏は湿度が少なく晴天の多い地中海性気候で、一年を通じて過ごしやすい。面積は約50 km²、人口は約96,350人でワシントン州第9位である。

南は北米貨物航路の重要な港湾として成長するタコマ市に隣接し、北に約40 km行くと、周辺最大の都市であるシアトル市がある。フェデラルウェイ（連邦道路）の名称が意味するとおり、シアトルとタコマを繋ぐ道路など主要な地方道路が通っているほか、シアトルタコマ国際空港にも近く、交通の便が非常に良い場所となっている。

このような地理的環境から、シアトル市やタコマ市のベッドタウンともなっているほか、雇用の場として主要な企業も進出している。また、2,400人収容でき世界大会の可能な水泳施設や、大型ショッピングセンター、優れた教育機関、市立図書館、近代化された医療施設をもつ地域の総合病院など、住環境の整備も進み、豊かな自然環境と合わせて、暮らしやすい環境を誇っている。また、近年、大企業の本社機能を持ったオフィスやハイテク産業の誘致に力を入れ、さらには国際輸出入業務に市を挙げて取り組むなどワシントン州の中でも成長著しい都市として注目されている。

3 姉妹提携までの経緯

平成2年9月に組織した「八戸市国際交流のまち推進協議会」において、姉妹都市選定基準を設け、候補地について討議を重ねてきた。そうした中で、平成4年4月に、八戸商工会議所と以前から友好的な交流のあったタコマ・ピアース郡商業会議所を通じてタコマ市長より、隣接のフェデラルウェイ市を紹介され、両市の相互訪問などにより姉妹都市提携の意志を確認した。

平成5年8月1日、フェデラルウェイ市長ほか9名の訪問団を迎えて、八戸市で姉妹都市提携を行った。

4 交流の現状

姉妹都市提携と前後して、市内の小学校5校、中学校・高校・大学各1校が、フェデラルウェイ市の学校と姉妹校提携を行い、交流を行っている。また、中学生による青少年海外派遣団のフェデラルウェイ市訪問や、フェデラルウェイ市の高校生による八戸市訪問が行われている。

平成10年度には、姉妹都市提携5周年を迎え、八戸市民の木である「いちい」の記念植樹を行なった。

5 交流の主な動き

- 平成 4年 4月 八戸商工会議所訪問団及び市職員、「はちのへ市フェア」（タコマ市）
打合せのため渡米、タコマ市よりフェデラルウェイ市を紹介される。
- 7月 市助役一行、フェデラルウェイ市を視察、フェ市市長を表敬訪問する。
- 7月 八戸市青少年海外派遣団（米国班5人）、フェデラルウェイを訪問。
- 5年 1月 フェデラルウェイ市よりロバート・ステッド市長はじめ訪問団が来八。
- 2月 中里市長をはじめとする8名がフェデラルウェイ市を訪問。姉妹都市提携に
向けた確認書に調印。
- 6月 八戸市職員、フェデラルウェイ市を訪問（姉妹都市提携の打合せ）。
- 6月 フェデラルウェイ高校の生徒一行が来八（5名）。
- 7月 ディケーター高校の生徒一行来八（9名）。
- 7月 八戸市青少年海外派遣団（米国班11人）、フェデラルウェイを訪問。
- 7月 フェデラルウェイ市長一行来八（姉妹都市提携のため）
- 8月 八戸市において、姉妹都市提携に調印（1日）。また、市内の小中学校がフ
エ市の中学校と姉妹校を提携。フェ市からトーテムポールが贈られる。
- 6年 7月 フェデラルウェイ市内高校生（フェデラルウェイ高校、ディケーター高校）
一行来八（11名）。
- 7月 フェデラルウェイ・ファミリーフェスタに市（総務課長）及び八戸商工会議
所合同で参加（写真パネル等展示）
- 7月 フェデラルウェイ市行政官補佐来八（姉妹都市提携記念エリア除幕式出席、
八戸三社大祭参加、フェデラルウェイ市写真展出席）。
- 7月 八戸市青少年派遣団（米国班11人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 10月 第3回世界地方都市十字路会議ヘメアリー・ゲイツ市長ほか市議会議員、
シティマネジャーが出席（八戸市）。
- 7年 3月 助役ら一行がタコマ市を訪問。港湾、貿易経済交流の会談にフェデラルウェ
イ市関係者も同席。
- 7月 フェデラルウェイ・ファミリーフェスタに職員2名が出席（写真パネル、
物産品展示）
- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班11人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 10月 八戸青年会議所「高齢化と教育」研究会、日米比較研究でフェデラルウェイ
市訪問。
- 11月 県副知事、市長、市議会議長が八戸港とタコマ港との経済貿易協定書調印
のため渡米。同協定にゲイツ市長他が立会人となる。
- 8年 2月 フェデラルウェイ市関係者来八（青年会議所受入）。
- 3月 八戸市からフェデラルウェイ市へ縄文親子像を寄贈。
- 7月 フェデラルウェイ・ファミリーフェスタへ収入役、職員1名が参加
(写真パネル、物産品展示)
縄文親子像除幕式がフェデラルウェイ市で行われる。
- 8月 マーロン・プリースト市長一行（4名）が三社大祭に合わせて来八。八戸
商工会議所と経済交流を実施。

- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班11人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 10月 フェデラルウェイ市姉妹都市協会員2名が八戸市訪問。
- 11月 フェデラルウェイ市の新聞に毎月、八戸市のニュースを掲載するコーナーが始まる。
- 9年 7月 フェデラルウェイ市の高校生一行（5名）来八。三社大祭参加、ホームステイ実施。
- 8月 ファミリーフェスタで八戸市庁郷土芸能保存会の一行がえんぶり、虎舞を演じる。
- 8月 八戸市青少年派遣団（米国班11人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 10年 4月 フェデラルウェイ市教育関係者一行来八。市内小学校を視察。
- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班7人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 8月 ロン・ギンツ市長一行（8名）が来八し、三社大祭に参加するほか、商工間関係者との経済懇談会や大学関係者との懇談会等を実施。同時期にフェデラルウェイ市の高校生一行（7名）も来八し、八戸や日本の文化の紹介等実施。
- 8月 ファミリーフェスタに八戸市の女性グループ（6名）等が参加し、八戸市や日本の文化の紹介などを実施。
- 8月 姉妹都市提携5周年記念植樹（イチイの苗8本）をフェデラルウェイ市内のダーマス・ベイ公園にて行う。
- 11年 4月 フェデラルウェイ市教育関係者一行来八。市内小中学校を視察。
- 8月 ファミリーフェスタにて八戸国際交流協会会員2名が参加。ハーモニカ演奏。
- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班7人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 12年 4月 マイケル・パーク市長一行9名来八。
- 8月 ファミリーフェスタに八戸国際交流協会会員2名が参加し、野菜細工のデモンストレーションを行った。
- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班7人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 10月 平成7年に締結した八戸港とタコマ港との経済貿易協定見直し調印。青森県副知事、八戸市助役らが渡米。同協定調印にパーク市長が立会人となる。
- 13年 5月 アジア太平洋都市会議（シアトル）出席のため、市長、市議会議員以下7名がフェラルウェイ市を訪問し、締結10周年記念行事について会談を持った。
- 8月 ファミリーフェスタに八戸国際交流協会会員が参加し、郷土芸能えんぶり虎舞等の公演をした。
- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班8人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 14年 6月 交流10周年記念として、姉妹都市高校野球親善試合が八戸市で行われ、高校生一行23名が来八し、八戸市選抜チームと対戦。
- 8月 ファミリーフェスタに八戸国際交流協会会員4名が参加し、大正琴による演奏と踊り、折り紙・生け花・お茶のデモンストレーションを行った。

- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班10人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 9月 ジーン・バービッチ市長一行が来訪。市議会で姉妹都市交流10年を振り返つてのスピーチをし、10周年記念にフェラデルウェイ市への訪問を要請した。
- 15年 7月 フェデラルウェイ市の高校生20名が来八し、市内の家庭にホームステイをしながら、市内の高校に通学した。
- 8月 フェデラルウェイフェスティバルに八戸国際交流協会員が参加し、合気道のデモンストレーションとワークショップを行った。
- 8月 姉妹都市締結10周年を記念して、中村寿文市長、市議会議員以下9名がフェデラルウェイ市を訪問した。
- 8月 八戸港北米コンテナ定期航路交流ミッションに、中村市長以下9名が参加し、フェデラルウェイ市やタコマ市を訪問した。
- 16年 7月 ディーン・マコーガン市長一行が来訪。八戸市での姉妹都市高校野球親善試合の開催を約束した。
- 8月 フェデラルウェイフェスティバルに八戸国際交流協会員5名が参加し、着物のショーや着付けを行った。
- 8月 八戸市青少年海外派遣団（米国班16人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 17年 6月 第2回姉妹都市対抗高校野球親善試合を八戸市で実施。フェデラルウェイ市選手団26名が来八。（選手15名、コーチ3名、介添人1名、保護者7名）。
- 8月 フェデラルウェイフェスティバルに八戸国際交流協会員2名が参加し、黒田節、大正琴などの披露を行う。
- 8月 タコマ港との経済貿易協定調印延長のため、八戸港北米ミッションに、大河原助役、蝦名県副知事以下19名が参加し、フェデラルウェイ市やタコマ市を訪問した。
- 18年 6月 八戸市青少年派遣団（米国班13人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 10月 マイケル・パーク市長一行4名が来八。市内視察、商工会議所や八戸大学を訪問した。
- 19年 6月 八戸市青少年派遣団（米国班16人）、フェデラルウェイ市訪問。
- 20年 2月 小林眞市長、村井達八戸国際交流協会会长、橋本昭一八戸商工会議所会頭ら計20名がフェデラルウェイ市を訪問した。
- 4月 八戸えんぶり（中居林えんぶり組）一行がシアトル桜祭り・日本文化祭に参加。シアトル桜祭りとフェデラルウェイ市内でえんぶりを披露した。
- 5月 八戸市青少年派遣団（米国班13人）、ワシントン州オリンピア市を訪れ、フェデラルウェイ市長を表敬した。
- 10月 ジャック・ドゥベイ市長一行8名が来八。市内視察（八戸ニュータウン等）、中心市街地活性化へ取り組みの説明を受ける。
- 22年 11月 小林眞市長一行8名がフェデラルウェイ市を訪問した。
フェデラルウェイ市の新市長への表敬と、カナダバンクーバー市のスケートの観察が主な目的。
- 23年 10月 八戸市青少年派遣団（米国班12名）がフェデラルウェイ市を訪問。
ホームステイや、サカジャウィア中学校と交流。

- 25年 5月 八戸市青少年派遣団（米国班13名）がフェデラルウェイ市を訪問。
ホームステイや、サカジヤウィア中学校と交流。
- 26年 5月 小林眞市長一行9名がフェデラルウェイ市を訪問した。
フェレル新市長への表敬、コミュニティセンターの視察等を行った。
- 27年 5月 八戸市青少年派遣団（米国班12名）がフェデラルウェイ市を訪問。
ホームステイや、ラコタ中学校、ディケーター高校と交流。
- 29年 5月 小林眞市長一行8名がフェデラルウェイ市を訪問した。
大久喜巖島神社の笠木返還再建でお世話になったポートランド日本庭園との
交流、シアトルプロモーション実施(商工課)が主な目的。
- 5月 八戸市青少年派遣団（米国班15名）がフェデラルウェイ市を訪問。
ホームステイや、ディケーター高校と交流。
- 30年 11月 姉妹都市提携25周年記念交流写真展inフェデラルウェイを開催。
フェデラルウェイ市及び教育委員会は共催。市長、教育長ほか、多くの市関
係者が来場した。
市民連携推進課職員2名（うち1名はCIR）、新美術館建設推進室学芸員2名が
現地で開催業務にあたった。
- 31年 1月 姉妹都市提携25周年記念交流写真展in八戸を開催。
写真展inフェデラルウェイの様子を市民へ伝えた。
- 5月 八戸市青少年派遣団（米国班16名）がフェデラルウェイ市を訪問。
ホームステイや、ディケーター高校と交流。
- 令和 5年 4月 ジム・フェレル市長一行14名が来八。市内視察（是川縄文館、八戸公園等）、
姉妹都市提携30周年を祝った。